

単元名 整数と小数

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 小数も整数と同じ十進位取り記数法を基にしていることを理解し、整数や小数を10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ 、 $1/1000$ にした数を求めることができる。
 (2) 十進数の仕組みや表し方を基にして、これを適切に利用して問題解決をすることができる。
 (3) 整数と小数の仕組みに関心を持ち、進んで調べようとする。

標準的な展開例

05040102_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 整数や小数の仕組みについて考え、単元の学習課題をつかむ。[p. 10・p. 11]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 56.72はどのような仕組みになっているか考える。 ○ 十進位取り記数法について知る。 ○ 56.72を10倍、$1/10$するとどうなるか考える。 ○ 単元の学習課題をつかむ。 ★ 整数や小数のしくみについて調べていこう。 <p>2 小数を10倍、100倍、1000倍したときのきまりを考える [p. 12]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 10倍、100倍、1000倍したときの小数点の移り方を調べよう。 ○ 42.195を10倍、100倍、1000倍した数を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>3 小数を$1/10$、$1/100$、$1/1000$にしたときのきまりを考える。[p. 13]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ $1/10$、$1/100$、$1/1000$にしたときの小数点の移り方を調べよう。 ○ 108.9を$1/10$、$1/100$、$1/1000$にした数を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>4 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 14・p. 15]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめよう」に取り組む。 ○ 学習の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数も整数と同じように、十進位取り記数法に基づいていることに気付かせる。 ・ 10、1、0.1、0.01をそれぞれ何個合わせた数か、話し合いを通して考えさせる。 ・ 数字のかかれた位置で位が決まることと、となりの位との間の関係を知らせる。 <p>【評】 小数の仕組みを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数を10倍、100倍、1000倍した数を求める活動を通して、小数点の位置の移動の仕方について理解させる。 ・ 小数点の位置が右に移っていくことに気付かせる。 <p>【評】 10倍、100倍、1000倍していくことを小数点の動きでとらえる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形式的な処理は簡単であるが、小数点や桁数が移動する理由を説明させることによって、小数の仕組みの理解を深めることが大切である。 ・ 小数点が左に移っていくことに気付かせる。 <p>【評】 $1/10$、$1/100$、$1/1000$にしていくことを小数点の動きでとらえる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 ・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 <p>【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

第4学年では、 $1/1000$ の位までの小数と、小数のたし算、ひき算について学習している。それを受けて、本単元では、十進位取り記数法としての小数の仕組みについて学習する。この後、第5学年のうちに、小数のかけ算、わり算も学習するので、それらも意識した単元構成や授業展開を工夫する必要がある。

展開例では、整数の十進位取り記数法について復習した後で、 $1/10$ の位をつくったときのことを思い出させ、 $1/1000$ の位までの小数をつくり出す。また、小数を10倍、100倍したときや、 $1/10$ 、 $1/100$ にしたときの小数点の移動を考えさせることにより、小数の仕組みを理解させるとともに、小数のかけ算、わり算への導入も行う。形式的に小数点を移動させるだけの指導にならないよう、小数の仕組みを確認しながら、丁寧に扱うことが大切である。

< 参考URL >

タダでマナべるさかぽん先生.tv <http://sakaponsensei.tv/text-m/5-1-1.pdf>